

# 第4学年 図画工作科学習指導案

1 題材名「Nuno+色=∞」 (絵や立体に表す)

## 第4学年〇組 図画工作科学習指導案(であいの活動)

指導者 ○○ ○○ 図工室

### 2 本題材について

子どもたちは今まで水彩絵の具やパス等をつかい、画用紙に自分が表現したいことを表現していく楽しさを味わってきた。しかし、画用紙以外に布や木、石等に絵の具で表現した経験は少ない。布は画用紙よりも水加減1つの工夫で「にじみ・かすれ」が大きく変わる。また、布は自由に形を変えることも動きを出すこともできるため、「かける・垂らす・置く・はる等」飾り方も色々工夫していくことができる。このようなことから、布への表現は楽しくもあり、難しさもあると考える。よって、子どもたちが思考する場も多く設定でき、布に表現することで、これからの表現の幅が広がり表現の楽しさも味わうことができると考える。よって、本題材は、この時期の子どもたちにとって価値があると考えられる。

### 3 本題材のねらい

- 布への表現を楽しみながら、自分のイメージしたことを進んで表そうとする。  
(造形への関心・意欲・態度)
- 偶然表れた色や形から表したいことを思い付いている。  
(発想や構想の能力)
- 自分のイメージしたことを表すために、材料や用具の特徴をいかしながら、つかうことができる。  
(創造的な技能)
- 一人一人の表現のよさに気付き、感じたことを楽しみながら伝え合っている。  
(鑑賞の能力)

### 4 本題材の計画 (5時間)

時	2 (1/5時 〇組)	2 (4/5時 〇組)	1 (5/5時 〇組)
ねらい	題材(布)にであい表現することへの意欲をもつ。 布にマスキングテープを貼っていき、その上からローラーや刷毛で色を付けていくことを楽しむ。	マスキングテープをはがして表れた色や形からイメージをふくらませる。 イメージしたことをペン等をつかい布に付け足したり、布を動かしたりしながら絵に表す。	表現したものを、飾りたい(かける、垂らす、置く、はる等)場所におき鑑賞しあい、表現のよさに気付き、そのことを伝え合う。
活動	であい	表現	鑑賞
学習活動の内容	1 布に、テープを貼り、色をぬる。 (1) 布にマスキングテープを貼っていく。 ・太さの違うマスキングテープの面白さ (2) ローラーや刷毛をつかって色を付けていく。 ・ローラーの太さ ・刷毛の大きさ ・色 (3) 「発見タイム」で、友だちにローラーや刷毛を使った表現方法の面白さを尋ねたり、よさや工夫したことを教えたりしながら新たな方法を発見し試す。 (4) 「図工ノート」に発見したことを書く。  共通事項・・・ア	2 色や形からイメージしたことを絵に表す。 (1) 色や形からイメージをふくらませる。 (2) イメージしたことを表現するのに何をつかい、どう飾るとピッタリか考えながら表現していく。 ・ペン、絵の具、ポスターカラーマーカー等で付け足す。 ・切る、はる、結ぶ等加工する。 ・飾り方(かける、垂らす、置く、はる等)を考えその場に行き、試しながら表現する。 ・「発見タイム」をし、再度表現活動をする。 (3) 「ミニ見鑑賞」を開き小集団で交流し、再度表現活動に入る。 ・自分のイメージに近づいているか(色や形・飾り方) 共通事項・・・イ	3 表現したものをピッタリな場所に飾り、お互いの表現のよさや面白さを話し合う。 (1) 思い通りに仕上がっているか振り返る。 (2) それぞれのグループの友だちの場所に行き、鑑賞会をする。 ・つけたし、修正をする。 ・思いを伝え合う。 ・思い(表現)のよさをメモし渡す。 (4) 「図工ノート」に友だちからのコメントを整理しながら感想を書く。 ・布をつかって ・自分の思考の過程を振り返って  共通事項・・・イ

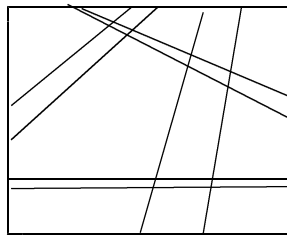
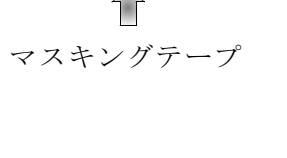
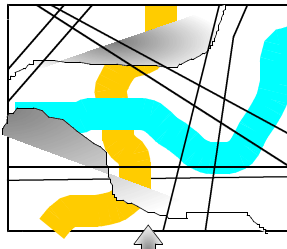
### 5 本時の目標 (1/5)

- 布への表現を楽しみながら、自分のイメージしたことを進んで表そうとする。  
(造形への関心・意欲・態度)

### 6 本時学習のポイント

条件(材料・用具)を精選した活動を提案することで、自分なりに使い方を考え、オリジナリティのある方法・表現を思考する子どもの姿が見られます。  
自由に移動しながらの交流(発見タイム)をすることで、自分と友だちの違う考えを発見し、さらに発想を深めていっている子どもの姿が見られます。

### 7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 題材と出あい、めあての確認をする。 ・布にマスキングテープで模様をつけていくことを知る。 ・ローラーや刷毛をつかって色をつけていくことを知る。	☆ これからの活動への意欲と期待感をもたせるために、出あわせ方を工夫する。 ☆ オリジナリティのある方法・表現を思考させるために材料(布)・用具(ローラー、刷毛)のみを渡す。	◎ 初めて出あう材料・用具をみてどう使うか考えている。
めあて Nunoに、自分だけの方法でテープをはって！色をぬっていこう！		
2 布にテープを貼って、ローラーや刷毛で色をつけていく。 ○布にマスキングテープを貼っていく。 ・太さの違うマスキングテープの面白さ	 ↑ マスキングテープ	◎ マスキングテープを、自分なりの貼り方を考えながら貼っている。  どここにはろうかな〜？ 何度もはがせるから… ここに貼ってみよう！
○ローラーや刷毛をつかって色を付けていく。 ・ローラーの太さ ・刷毛の大きさ ・色		◎ ローラーや刷毛に好きな色をつけ、表現方法を考えている。  水が多いとにじんだよな〜 水を少なくしてみようかな〜。
3 自由な交流「発見タイム」をする。  ○友だちにローラーや刷毛を使った表現方法を尋ねたり教えたりする。 ・ローラーの模様の感じ ・色の濃さや水加減の感じ  ○新たな方法を発見し試す。  ○「図工ノート」に発見したことをメモしておく。	☆ 自分と友だちの違う考えを発見しさらに発想(思考)を深めさせるために、自由な交流(発見タイム)をする。   ↑ にじんでいるローラーのあと	◎ 自由に歩きながら、自分とは違う友だちの表現の方法を発見し、どんな方法でできるか考えている。  この感じはどうやってしたのかな〜  〇〇君の方法はいいな〜どうやってしたのか聞いてみよう。  □□さんの方法を真似してやってみよう！  △ 友だちに自分の言葉でたずねたり教えたりしている。

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習の構え





5 本時の目標 (4/5)

- 自分のイメージしたことを表すために、材料や用具の特徴をいかしながら、つかうことができる。(創造的な技能)

6 本時学習のポイント

グループで交流(ミニ見鑑賞)をすることで、友だちのよさを認めたり、友だちの考え方や工夫を取り入れたりして、イメージしたことを表すために、よりよい表現方法を思考する子どもの姿がみられます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 めあての確認をする。	☆ 図工ノートをもとに今までの活動を思い出させる。	△ 必要な用具・材料の準備ができています。 △ 何をするか理解している。
めあて 自分の思いにもっと近づけるように、表現を工夫しよう。		
2 「ミニ見鑑賞」をする。  ○小集団で交流をし、「このままでいいの」「もっと工夫していくの」振り返る。	☆ 自分の思いに近づけるために小集団での交流を仕組む。  ・このままでいいの ・もっと工夫した方がいいの ・表したいものに近づけるためにどうしたいの ・何に使いたいのか	◎ 友だちの考えを聞きながら、どう表現していくか考えている。  う〜ん…◇君が言うとおりに、〇〇をしたら〇〇になりそうだ。  このままつくり続けてよさそうだ!
3 「ミニ見鑑賞」が終わったグループから表現活動にはいる。	☆ 一人一人の思考の深まりを大切にするために、子どもたちが表現を工夫している姿を認めながら、言葉かけをしていく。	◎ 自分の表現の工夫に気づき、活動を進めている。  ○〇君から教えてもらったこの方法を使ってみようかな?
4 「図工ノート」により学習を振り返る。  ○友だちから得たことや自分がアドバイスしたことをノートに書く。  ○前と比べてどうなったか書く。	☆ 自分の思考(学習)を振り返り整理するために、「図工ノート」にまとめさせる。	 ○〇さんのおかげで、◇◇を工夫できたよ!自分の思いに近づいた!
5 次時の学習を知る。 ○自分のおき場所で鑑賞会をする		◎ 交流を終えて、表現にどう活かされたか、「図工ノート」に書いている。  前より、自分の思いになってきたぞ!

○造形活動の姿 ◎思考判断している姿 △学習の構え




5 本時の目標 (5/5)

- 自分や友だちの表現のよさに気づき、感じたことを楽しみながら伝え合っている。(鑑賞の能力)

6 本時学習のポイント

グループで鑑賞会をし、作品への思いを伝え合うことで、布をどのように工夫してきたのかを思考しながら、話したり聞いたりする姿がみられます。  
図工ノートを書くことで、自分の思考の過程を振り返り、整理することができます。

7 展開

学習活動	支援	子どもの姿
1 めあての確認をしながら、本時の学習の見通しをもつ。  めあて 自分や友だちの作品のよさをつたえよう。	☆ 図工ノートをもとに、自分の作品にこめられた思いや工夫を確認させる。	△ 必要な用具・材料の準備ができています。
2 作品を置く場所に持って行き、見直す。  ○付加材料をつける。 ○置く向きを考える。		
3 鑑賞会をする。  ○自分の作品や思いをグループに発表する。 ○友だちの作品のよさをメモして渡す。	☆ 布をどのように、工夫してきたのかを思考しながら話したり聞いたりさせるために、鑑賞会をさせる。  〈話す観点〉 ・イメージしたところ ・工夫したところ ・この場所を選んだ理由 〈聞く観点〉 ・自分の思考と比べながらよさをみつける。	◎ 思考の過程を振り返りながら話している。  テントのように布を枝にかけました。下から見て透けるように、色はぼかすようにぬりました。
4 今日の活動を振り返りながら、「図工ノート」にまとめる。  ○友だちからのメモを読んで、思ったことを書く。	☆ 自分の表現の過程を振り返り、整理するために、図工ノートにまとめさせる。  ・この学習でできたこと ・工夫したこと ・友だちから言われてうれしかったこと ・布のよさを実感できたこと	◎ 自分の思考と比べながら聞いている。  枝にかけると、テントの屋根のように見えるんだね。薄い色だから、光が透けてきれいだね。思いつかなかったな〜。
		◎ 「図工ノート」に自分の思考の過程を振り返りながら書いている。  自分が伝えたいことが伝わって良かった。みんながほめてくれて自信がついたな。

○ 造形活動の姿 △ 学習の構え ◎ 思考・判断している姿